

科目名	社会科学講義						
科目名(英)	Social Sciences						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	横山 真太郎		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「社会科学(政治経済)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。政治分野・経済分野・社会分野の3分野の要点を踏まえ、問題演習を重ねることによって「社会科学(政治経済)」の受験攻略のポイントの修得につなげる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標(到達目標)	高経 知的 運動 態度 その他	目標					
	○				政治分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。		
	○				経済分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。		
	○				社会分野の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。		
	○△				試験問題で問われる知識を活用でき、試験問題の正答を選択することができる。		
テキスト・教材参考図書	・麻生キャリアサポート編集 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編 ・一問一答暗記テキスト2020年度 原点 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	統治機構 三権分立			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	2	統治機構 国会①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	3	統治機構 国会②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	4	統治機構 内閣			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	5	統治機構 裁判所①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	6	統治機構 裁判所②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	7	経済のしくみ 市場と価格①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	8	経済のしくみ 市場と価格②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	9	経済のしくみ 市場と価格③			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	10	企業のしくみ			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	11	景気と物価①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	12	景気と物価②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	13	日本国憲法の基本的性格①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	14	日本国憲法の基本的性格②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	15	地方自治①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	16	地方自治②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	17	金融と日本銀行の金融政策①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	18	金融と日本銀行の金融政策②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	19	財政政策①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	20	財政政策②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	21	選挙制度①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	22	選挙制度②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	23	選挙制度③			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	24	民主主義の発展			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	25	各国の政治制度①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	26	各国の政治制度②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	27	基本的人権の尊重			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	28	自由権			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	29	社会権			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	30	その他・前提となる人権など			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	31	国際政治と日本①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	32	国際政治と日本②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	33	国際政治と日本③			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	34	為替レートと貿易①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	35	為替レートと貿易②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	36	国際経済との関わり①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	37	国際経済との関わり②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	38	国民所得と経済成長①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	39	国民所得と経済成長②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	40	現代日本経済の構造と課題①			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	41	現代日本経済の構造と課題②			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	42	経済学史			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	43	社会保障・情報化			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
	44	労働事情			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく		
45	環境問題・農業問題			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておく			
評価方法	4月～7月の授業理解度確認テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる小テストは別途告知する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		授業理解度確認テスト	○	○			100%
履修上の注意	授業時に配布するプリントはしっかりと復習を行うこと。						

科目名	人文科学講義(日本史)						
科目名(英)	History of Japan						
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	児玉 博基		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることを学習目標に授業を行う。日本政治史の流れを中心に要点を踏まえたうえで、問題演習を重ねることで「人文科学(日本史)」の得点率向上につなげる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○					日本史の要点について学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
	○					講義を通して公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。	
	○					歴史を通して現代社会における課題や現状を自己の見解で述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・配布プリント ・一問一答暗記テキスト2020年度 原点						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	古代1 縄文時代～大和時代	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	2	古代2 飛鳥時代～大化の改新	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	3	古代3 律令国家の完成	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	4	古代4 奈良時代	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	5	古代5 平安時代	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	6	古代6 平安時代末期	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	7	文化史① 飛鳥文化～平安文化	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	8	中世1 鎌倉時代① 執権政治と蒙古襲来	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	9	中世2 鎌倉時代② 鎌倉時代末期	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	10	中世3 南北朝時代～室町時代初期 下剋上の世の中	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	11	中世4 室町時代中期以降～ 室町時代末期	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	12	文化史② 鎌倉～室町～南北朝文化	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	13	近世1 安土桃山時代	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	14	近世2 江戸時代① 江戸初期の外交	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	15	近世3 江戸時代② 幕藩体制の動揺	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	16	近世4 江戸時代③ 諸外国の接近と幕政改革	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	17	近世5 江戸時代④ 開国とその影響	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	18	近世6 江戸時代⑤ 幕末の政局	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	19	近世7 江戸時代⑥ 幕末～明治維新	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	20	文化史③ 元禄文化～化政文化	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	21	近代1 明治・大正① 自由民権運動	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	22	近代2 明治・大正② 松方財政	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	23	近代3 明治・大正③ 条約改正	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	24	近代4 明治・大正④ 護憲運動1	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	25	近代6 明治・大正⑤ 協調外交と護憲運動2	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	26	文化史④ 明治～大衆文化	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	27	近代7 昭和① 昭和戦前	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	28	近代8 昭和② 昭和戦中	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	29	現代1 戦後① 戦後処理と復興	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
	30	現代2 戦後② 高度経済成長	テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。				
評価方法	4月～7月での授業理解度確認テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 また、授業の取り組み姿勢・意欲も評価の対象として、以下の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業理解度確認テスト	○	○				100%
履修上の注意	授業時に配布するプリントはしっかりと復習を行うこと。						

科目名	人文科学講義(世界史)						
科目名(英)	World History						
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	桑原 賢		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	高校世界史の中から公務員試験と関係の深い箇所を履修する。 基本的には「ヨーロッパ・アメリカ史」と「アジア史」に分けて、それぞれの地域を「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」と時代順に進め、公務員試験に対応できるレベルの獲得を目指す。授業はおもに政治史を中心に進めるが、時折文化史や社会経済史にも触れる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					中国史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。	
	○					ヨーロッパ史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。	
	○					近現代史をよく理解し、公務員試験(模試)で正答を選ぶことができる。	
	○					論理的思考や多様な視点を身につけ、世界情勢に関心を持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・配布プリント・一問一答暗記テキスト2020年度 原点						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	古代ギリシア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	2	ローマ帝国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	3	ゲルマン民族、フランク王国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	4	中世のローマ教皇、十字軍			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	5	ルネサンス			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	6	大航海時代			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	7	宗教改革			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	8	絶対王政			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	9	ピューリタン革命～名誉革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	10	アメリカ独立革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	11	フランス革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	12	ナポレオン戦争			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	13	産業革命			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	14	ウィーン体制			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	15	19世紀ヨーロッパ各国			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	16	帝国主義の世界分割			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	17	第一次世界大戦			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	18	ロシア革命、ヴェルサイユ体制			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	19	世界恐慌			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	20	第二次世界大戦			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	21	冷戦の始まり			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	22	冷戦の経過			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	23	中国史1(殷～後漢)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	24	中国史2(後漢～南北朝)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	25	中国史3((隋～唐)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	26	中国史4(宋・金～モンゴル帝国～元)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	27	中国史5(明～清)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	28	中国史6(清末と西欧列強)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	29	中国史7(中華民国)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
	30	中国史8(中華人民共和国)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。		
評価方法	4月～7月での授業理解度確認テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業理解度確認テスト	○	○				100%
履修上の注意	授業の進度が速いので、テキストをよく復習すること。分からない箇所は積極的に質問すること。						

科目名	人文科学講義(地理)					
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	馬場 秀樹	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で、頻出単元になる「人文科学(地理)」での得点率を上げることを目標に講義を行う。世界各地の地形・気候の特徴を中心に、要点を踏まえたうえで問題演習を重ねながら公務員試験(地理)の得点率向上を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	目標					
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○					地理の要点について学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。
	○					講義を通して公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。
	○					地理を通して現代社会における課題や現状を自己の見解で述べるができる。
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編 : 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・帝国書院 : 地図帳 ・配布プリント ・一問一答暗記テキスト2020年度 原点					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	【はじめに】地理の基礎知識①②			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	2	気候(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	3	気候(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	4	気候の続き、土壌			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	5	風・日本の気候			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	6	地形(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	7	地形(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	8	地形(3)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	9	地図			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	10	世界の農牧業(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	11	世界の農牧業(2)、生産量・輸出量・発電			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	12	東アジア(1)(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	13	東南アジア(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	14	東南アジア(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	15	南アジア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	16	西アジア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	17	アフリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	18	ヨーロッパ(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	19	ヨーロッパ(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	20	ヨーロッパの続き			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	21	ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア、北アメリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	22	北アメリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	23	南アメリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	24	南アメリカ			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	25	オセアニア			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	26	人口			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	27	漁業・産業			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	28	時差			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	29	まとめ(1)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	30	まとめ(2)			テキスト該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト 原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
評価方法	4月～7月での授業理解度確認テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	授業理解度確認テスト	○	○			
履修上の注意						

科目名	自然科学講義(数学)						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	15時間/60時間	担当者	東寺 正和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して学習する。また、問題演習を通して本試験の傾向も学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各単元の基本的解法を身に付けている。	
		○				公務員試験本試験問題解答時に、適切な解法を導き出し正しく解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	展開、因数分解					
	2	平方根(基本計算: 足し算・引き算・掛け算・割り算)					
	3	平方根(有理化)、一次関数(1)					
	4	一次関数(2)、二次方程式・二次不等式(1)					
	5	二次方程式・二次不等式(2)					
	6	第1講義～第5講義の復習・調整					
	7	二次関数(1)					
	8	二次関数(2)					
	9	二次関数(3)					
	10	二次関数(4)					
	11	三角比(1)					
	12	三角比(2)					
	13	三角比(3)					
	14	円の方程式・領域					
	15	第7講義～第14講義の復習・調整					
評価方法	4月～7月の模擬試験における数学の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義(化学・物理)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	15時間/60時間	担当者	中泉 満智栄	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	自然科学分野の化学・物理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストおよび授業内で配布するプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶと伴に知識を確実なものとする。					
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:	
				実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	<input type="radio"/>					化学・物理の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。
		<input type="radio"/>				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	物質の構造1 周期表・基本事項・物質の構造(解説1~2)				
	2	物質の構造2 物質の構造(解説3~6)				
	3	モル・化学反応式				
	4	酸と塩基				
	5	酸化・還元1 酸化・還元(解説1~4)				
	6	酸化・還元2 酸化・還元(解説5~7)				
	7	周期表				
	8	気体				
	9	気体の性質・溶解度				
	10	金属の性質				
	11	力				
	12	滑車・てんびん・ばね・浮力				
	13	物体の運動				
	14	仕事・力学的エネルギー・熱量				
15	電気					
評価方法	授業と並行して行う確認テスト(小テスト)の得点率(100%=100点)によって評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			評価割合
						100%
履修上の注意						

科目名	自然科学講義(地学・物理)						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	15時間/60時間	担当者	堀 津与志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	自然科学分野の地学・物理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストおよび授業内で配布するプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					地学・物理の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。	
		<input type="radio"/>				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地球の内部					
	2	地震					
	3	岩石					
	4	火山					
	5	大気構成					
	6	天気1 (気圧)					
	7	天気2 (日本の天気)					
	8	地球の運動					
	9	太陽・月					
	10	太陽系の天体					
	11	恒星と宇宙					
	12	地球の歴史					
	13	波動1 (音と光)					
	14	波動2 (波の性質)					
	15	放射線					
評価方法	授業と並行して行う確認テスト(小テスト)の得点率(100%=100点)によって評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				100%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義(生物)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	15時間/60時間	担当者	仲上 繁	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	自然科学分野の生物について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解き、本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。					
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:	<input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	<input type="radio"/>					生物の要点を学び、試験問題で問われる知識の概要を説明することができる。
		<input type="radio"/>				講義を通し公務員試験に必要な内容を履修し、自ら学習ができる。
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	生体のつくり				
	2	細胞分裂				
	3	生殖				
	4	遺伝				
	5	酵素				
	6	同化(光合成・窒素同化)				
	7	異化(呼吸・発酵)				
	8	刺激と反応1 (神経系)				
	9	刺激と反応2 (目・耳・筋肉)				
	10	恒常性と調節1 (血液)				
	11	恒常性と調節2 (自律神経・免疫)				
	12	植物の反応				
	13	動物の行動				
	14	生態系				
	15	進化				
評価方法	授業と並行して行う確認テスト(小テスト)の得点率(100%=100点)によって評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
履修上の注意						

科目名	文章理解講義						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	佐藤 美聡		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	文章読解を通して、幅広い教養を身に付ける。また、国語分野の学習を通じて豊かな表現力を養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	△				本試験における標準レベルの問題(文章読解)について、正解に達することができる。	
	○	△				本試験における標準レベルの問題(国語分野)について、正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	概要説明、問題演習(内容合致)					
	2	問題演習(内容合致・要旨)、国語テスト					
	3	問題演習(内容合致・要旨)、国語テスト					
	4	問題演習(内容合致・空欄補充)、国語テスト					
	5	問題演習(内容合致・文章整序)、国語テスト					
	6	問題演習(内容合致・空欄補充・文章整序)、国語テスト					
	7	問題演習(内容合致・空欄補充・文章整序)、国語テスト					
	8	問題演習(要旨・空欄補充)、国語テスト					
	9	問題演習(要旨・古文)、国語テスト					
	10	問題演習(内容合致・空欄補充・文章整序)、国語テスト					
	11	問題演習(内容合致・古文)、国語テスト					
	12	問題演習(内容合致・空欄補充・文章整序)、国語テスト					
	13	過去問演習 H20国家一般職・税務					
	14	過去問演習 H19国家一般職・税務					
15	過去問演習 H25裁判所						
評価方法	4月～7月の模擬試験における教科正答率を換算し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義(判断論理)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	30時間/45時間	担当者	山本 剛		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					判断推理各単元の基本的解法を身に付けている。	
	○					題意を読み解き、図表を用いた実践的解法を身に付け、公務員試験問題に正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1. 対応関係(1)2つの事柄					
	2	1. 対応関係(2)場合分け・間接的な表現					
	3	1. 対応関係(3)組合せ					
	4	2. 試合・勝敗(1)リーグ戦					
	5	2. 試合・勝敗(2)トーナメント戦					
	6	2. 試合・勝敗(3)特殊なパターン・勝率					
	7	3. 論理(1)三段論法					
	8	3. 論理(2)左または右かつ					
	9	3. 論理(3)ベン図					
	10	4. うそつき(1)グループ分け					
	11	4. うそつき(2)半分半分					
	12	4. うそつき(3)犯人探し					
	13	5. 順序関係(1)数直線と平均					
	14	5. 順序関係(2)ブロック化					
	15	5. 順序関係(3)順序の変動・折り返し					
	16	5. 順序関係(4)樹形図・時刻と時計のずれ					
	17	6. 集合・人数(1)ベン図					
	18	6. 集合・人数(2)キャロル表					
	19	6. 集合・人数(3)最大・最小					
	20	7. 位置・方位(1)位置					
	21	7. 位置・方位(2)円卓					
	22	7. 位置・方位(3)方位					
	23	8. 暗号(1)対応規則					
	24	8. 暗号(2)いろいろな暗号					
	25	9. 手順(1)天秤・ニセ金					
	26	9. 手順(2)帽子・油分け算					
	27	9. 手順(3)ハノイの塔・定員有の移動					
	28	10. 暦・カレンダー					
	29	11. 数量推理(1)鳩ノ巣原理・○×の問題					
	30	11. 数量推理(2)数量関係					
評価方法	4月～7月の模擬試験における判断推理の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義(判断図形)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	吉武 伸生		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	判断推理の図形分野において公務員採用試験出題される単元を(中心に)、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					判断図形各単元の基本的解法を身に付けている。	
		○				題意を読み解き、図を用いた適切な解法を身に付け、公務員試験問題に正答できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	折り紙					
	2	道順					
	3	位相					
	4	展開図①組み立て方					
	5	展開図②サイコロ					
	6	平面図形①数え上げ					
	7	平面図形②断片の組み立て					
	8	軌跡①直線上の軌跡					
	9	軌跡②円周上の軌跡					
	10	軌跡②円周上の軌跡					
	11	空間図形の分割①着色・串刺し					
	12	空間図形の分割②切断					
	13	多面体・切断・投影					
	14	空間図形の投影					
	15	まとめ問題演習①					
評価方法	4月～7月の模擬試験における判断図形の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義(数的論理)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	30時間/45時間	担当者	船木 竜太		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験必須の科目となる数的推理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶとともに知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○					頻出パターンを理解し、各単元の基本的解法や必要となる数学的知識を身に付ける。	
	○					数学的思考力・論理力を応用して、本試験問題に解答できる適切な解法を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 数的推理 テキスト編・問題集編 ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	濃度①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	2	濃度②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	3	比と割合			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	4	売買損益			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	5	旅人算①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	6	旅人算②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	7	通過算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	8	流水算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	9	その他の速さ			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	10	時計算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	11	仕事算①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	12	仕事算②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	13	ニュートン算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	14	場合の数①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	15	場合の数②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	16	場合の数③			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	17	確率①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	18	確率②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	19	確率③			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	20	平均算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	21	年齢算			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	22	連立方程式①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	23	連立方程式②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	24	不定方程式			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	25	記数法			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	26	整数			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	27	約数・倍数①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	28	約数・倍数②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	29	数列・規則①			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	30	数列・規則②			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	評価方法	4月～7月の模擬試験における数的推理の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。 個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
模擬試験		○	○				100%
履修上の注意							

科目名	数的推理講義(数的図形)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	吉武 伸生		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年							
授業概要	公務員試験必須の科目となる数的推理について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶと併に、知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					頻出パターンを理解し、各単元の基本的解法や必要となる数学的知識を身に付ける。	
		○				数学的思考力・論理力を応用して、本試験問題に解答できる適切な解法を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 数的推理テキスト編/問題編 ・配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	三角形と多角形(内角・外角・対角線)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	2	三角形と多角形(有名三角形、相似)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	3	三角形と多角形(三平方の定理、チェバ・メネラウスの定理)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	4	円(円周角、接弦定理)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	5	円(内接円、円と接線)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	6	「三角形と多角形」「円」総合演習			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	7	面積(三角形)(面積の加減、三角形の高さ)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	8	面積(三角形)(面積比)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	9	面積(円・扇形)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	10	面積(その他)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	11	立体(体積・表面積・展開図)(体積、表面積)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	12	立体(体積・表面積・展開図)(体積比、展開図)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	13	立体(切断・回転図・その他)(立体の切断)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	14	立体(切断・回転図・その他)(回転体)			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
	15	総合演習			テキストの例題を反復練習、絶対合格シリーズ数的推理問題集編の該当する範囲を解く。		
評価方法	4月～7月の模擬試験における数的推理の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	資料解釈講義						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験必須の科目となる資料解釈について、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと問題集、演習プリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで、本試験の出題傾向を学ぶと共に、知識を確実なものとする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各資料の基本的な読み解き方を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				過去問の演習を通し、実際に出題されるレベルの問題を解けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編 ・配布プリント 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 導入①(重要ポイント1~2) 図表の見方、割合の計算					
	2	第1章 導入②(重要ポイント3~4) 割合の計算、増減率					
	3	第1章 導入③(重要ポイント5) 分数の大小比較					
	4	第2章 実数と構成比①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	5	第2章 実数と構成比②				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	6	第3章 指数と構成比①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	7	第3章 指数と構成比②				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	8	第4章 増減率①(導入)				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	9	第4章 増減率②				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	10	第5章 その他の資料				問題集からテキストで扱った類似問題を2題学習するよう指示する。	
	11	第6章 問題演習①					
	12	第6章 問題演習②					
	13	第6章 問題演習③					
	14	演習プリント(混合問題)					
15	演習プリント(混合問題)						
評価方法	4月~7月での演習問題・小テストでの総出題満点を100点と換算し評価する。4月~7月の模擬試験における資料解釈の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	資料解釈演習・小テスト	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	適性一般知識演習																								
科目名(英)																									
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	山本 剛/栗原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和																				
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実施継続																					
対象学科・学年	公務員専攻科1年																								
授業概要	事務適性試験の反復練習を実施し、適性試験に慣れることと処理速度をあげること身につけさせ、点数向上を目指す。また、前週及び前日までに実施された授業について演習試験で確認を行うことで、授業内容の理解と修得状況の確認を行い知識の定着を図る。																								
授業形式	講義: <input type="checkbox"/> Δ	演習: <input type="checkbox"/> ○	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: Δ																				
学習目標 (到達目標)	<table border="1"> <tr> <td>到達目標</td> <td>到達目標</td> <td>到達目標</td> <td>到達目標</td> <td>到達目標</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ○</td> <td><input type="checkbox"/> Δ</td> <td><input type="checkbox"/> ○</td> <td><input type="checkbox"/> Δ</td> <td><input type="checkbox"/> ○</td> </tr> <tr> <td>適性試験を反復して解き、事務処理能力を向上させ、多くの問題を解けるようになる。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業理解度の確認と、知識の定着を図り、公務員試験で正答を出せるようになる。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					到達目標	到達目標	到達目標	到達目標	到達目標	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> Δ	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> Δ	<input type="checkbox"/> ○	適性試験を反復して解き、事務処理能力を向上させ、多くの問題を解けるようになる。					授業理解度の確認と、知識の定着を図り、公務員試験で正答を出せるようになる。				
到達目標	到達目標	到達目標	到達目標	到達目標																					
<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> Δ	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> Δ	<input type="checkbox"/> ○																					
適性試験を反復して解き、事務処理能力を向上させ、多くの問題を解けるようになる。																									
授業理解度の確認と、知識の定着を図り、公務員試験で正答を出せるようになる。																									
テキスト・教材 参考図書	・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 ・オリジナル教材(一問一答集、社会科学・人文科学・自然科学テキスト)																								
授業計画	※※	授業項目・内容			授業外学修指示																				
	1	事務適性試験-一般知識演習1																							
	2	事務適性試験-一般知識演習2																							
	3	事務適性試験-一般知識演習3																							
	4	事務適性試験-一般知識演習4																							
	5	事務適性試験-一般知識演習5																							
	6	事務適性試験-一般知識演習6																							
	7	事務適性試験-一般知識演習7																							
	8	事務適性試験-一般知識演習8																							
	9	事務適性試験-一般知識演習9																							
	10	事務適性試験-一般知識演習10																							
	11	事務適性試験-一般知識演習11																							
	12	事務適性試験-一般知識演習12																							
	13	事務適性試験-一般知識演習13																							
	14	事務適性試験-一般知識演習14																							
	15	事務適性試験-一般知識演習15																							
	16	事務適性試験-一般知識演習16																							
	17	事務適性試験-一般知識演習17																							
	18	事務適性試験-一般知識演習18																							
	19	事務適性試験-一般知識演習19																							
	20	事務適性試験-一般知識演習20																							
	21	事務適性試験-一般知識演習21																							
	22	事務適性試験-一般知識演習22																							
	23	事務適性試験-一般知識演習23																							
	24	事務適性試験-一般知識演習24																							
	25	事務適性試験-一般知識演習25																							
	26	事務適性試験-一般知識演習26																							
	27	事務適性試験-一般知識演習27																							
	28	事務適性試験-一般知識演習28																							
	29	事務適性試験-一般知識演習29																							
	30	事務適性試験-一般知識演習30																							
	31	事務適性試験-一般知識演習31																							
	32	事務適性試験-一般知識演習32																							
	33	事務適性試験-一般知識演習33																							
	34	事務適性試験-一般知識演習34																							
	35	事務適性試験-一般知識演習35																							
	36	事務適性試験-一般知識演習36																							
	37	事務適性試験-一般知識演習37																							
	38	事務適性試験-一般知識演習38																							
	39	事務適性試験-一般知識演習39																							
	40	事務適性試験-一般知識演習40																							
	41	事務適性試験-一般知識演習41																							
	42	事務適性試験-一般知識演習42																							
	43	事務適性試験-一般知識演習43																							
	44	事務適性試験-一般知識演習44																							
	45	事務適性試験-一般知識演習45																							
	46	事務適性試験-一般知識演習46																							
	47	事務適性試験-一般知識演習47																							
	48	事務適性試験-一般知識演習48																							
	49	事務適性試験-一般知識演習49																							
	50	事務適性試験-一般知識演習50																							
	51	事務適性試験-一般知識演習51																							
	52	事務適性試験-一般知識演習52																							
	53	事務適性試験-一般知識演習53																							
	54	事務適性試験-一般知識演習54																							
	55	事務適性試験-一般知識演習55																							
	56	事務適性試験-一般知識演習56																							
	57	事務適性試験-一般知識演習57																							
	58	事務適性試験-一般知識演習58																							
	59	事務適性試験-一般知識演習59																							
	60	事務適性試験-一般知識演習60																							
	61	事務適性試験-一般知識演習61																							
	62	事務適性試験-一般知識演習62																							
	63	事務適性試験-一般知識演習63																							
	64	事務適性試験-一般知識演習64																							
	65	事務適性試験-一般知識演習65																							
	66	事務適性試験-一般知識演習66																							
	67	事務適性試験-一般知識演習67																							
	68	事務適性試験-一般知識演習68																							
	69	事務適性試験-一般知識演習69																							
	70	事務適性試験-一般知識演習70																							
	71	事務適性試験-一般知識演習71																							
	72	事務適性試験-一般知識演習72																							
	73	事務適性試験-一般知識演習73																							
	74	事務適性試験-一般知識演習74																							
75	事務適性試験-一般知識演習75																								
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を点数換算し総合評価。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。																								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合																		
	適性演習試験	◎	◎				80%																		
一般知識演習試験	○	○				20%																			
履修上の注意																									

科目名	教養演習						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 電太/賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	社会科学・人文科学・自然科学・数的推理・判断推理・資料解釈・文章理解について、問題演習と解説を行うことにより知識と知能の定着を図る。加えて、当該科目の通常コマの授業で展開できなかった知識と解法を新たに学ぶ。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	高専 標準	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○	知識科目各分野基本問題において、70%の正答率を出せるようになる。					
	○	知能科目各分野の基礎理解を深め、70%の正答率を出せるようになる。					
テキスト・教材 参考図書	・教員作成のオリジナルレジュメ(各回において配布する)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)①			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	2	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)①			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	3	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)②			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	4	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)②			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	5	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)③			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	6	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)④			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	7	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)③			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	8	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑤			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	9	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑥			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	10	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)④			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	11	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑦			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	12	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑧			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	13	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑤			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	14	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑨			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	15	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑩			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	16	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑥			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	17	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑪			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	18	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑫			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	19	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑦			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	20	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑬			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	21	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑭			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	22	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑧			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	23	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑮			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	24	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑯			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	25	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑨			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	26	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑰			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	27	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑱			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	28	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑩			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	29	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑲			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	30	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)⑳			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	31	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑪			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	32	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉑			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	33	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉒			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	34	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑫			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	35	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉓			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	36	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉔			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	37	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑬			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	38	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉕			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	39	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉖			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	40	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑭			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	41	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉗			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	42	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉘			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	43	知識演習(社会科学・人文科学・自然科学)⑮			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	44	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉙			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
	45	知能演習(数的推理・判断推理・資料解釈)㉚			授業終了後に理解できていない箇所について見直すこと。また類似問題を解いておくこと。		
評価方法	4月13日から7月31日までの期間で実施する知識・知能演習問題採点結果の平均成績で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	知識演習採点結果	○					50%
	知能演習採点結果	○	◎				50%
履修上の注意							

科目名	二次試験対策(公務員リテラシー)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	30時間/45時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員の職種紹介にて様々な職業理解を深め、進路選択の幅を広めるとともに学習方法や身だしなみ受験申込み上の注意点などを理解することで、公務員試験に合格するための準備を行う。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	公務員の各職種を理解し、志望先を正しく選択することができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	公務員試験を受験する様々な手続きを確実に行うことができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
テキスト・教材 参考図書	・教員配布の資料(担当教員作成のレジュメ・プリント課題)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	公務員職種ガイダンス					
	2	公務員受験ガイダンス					
	3	勉強の仕方ガイダンス					
	4	職種説明 海上保安官					
	5	職種説明 学校事務					
	6	職種説明 国立大学法人					
	7	職種説明 警察事務					
	8	職種説明 自衛官					
	9	職種説明 東京消防庁					
	10	職種説明 刑務官					
	11	職種説明 特別区					
	12	職種説明 国家一般職					
	13	職種説明 税務職員					
	14	国家一般職・税務職員申込ガイダンス					
	15	税務職員申込ガイダンス					
	16	卒業生DVD視聴					
	17	職種研究ゼミ①					
	18	職種研究ゼミ②					
	19	職種研究ゼミ③					
	20	職種研究ゼミ④					
	21	職種研究ゼミ⑤					
	22	職種研究ゼミ⑥					
	23	職種研究ゼミ⑦					
	24	職種研究ゼミ⑧					
	25	面接検定準備①					
	26	面接検定準備②					
	27	面接検定準備③					
	28	面接検定準備④					
	29	(男子)スーツの着こなし、(女子)メイクの仕方					
	30	受験会場での注意点					
評価方法	レポート課題により評価を行う。また、同じ二次試験対策強化項目(面接)と合わせて評価し、評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート課題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		100%
履修上の注意							

科目名	二次試験対策(面接)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	15時間/45時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	面接試験に向けて、ペン字を通して人に読まれる文字の大切さを学び、面接カードの書き方や原稿用紙の使い方を理解していく。また、自分自身の過去を振り返り、改めて公務員になることの意義を振り返り、それを面接カードに表現できるようになるとともに、時事についても学んでいく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△	○				ペン字を通じ、文字の丁寧な書き方や封筒記入方を学び表現できる。	
	△	○				面接カードの書き方を通じ、効果的な自己PRができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	受験手帳 ペン字課題(配布プリント) 担当教員作成の配布レジュメ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	受験手帳使用の説明					
	2	ペン字(名前の書き方)					
	3	面接導入①					
	4	ペン字(面接カードの書き方①)					
	5	面接導入②					
	6	面接ノート書き(自分史)					
	7	ペン字(面接カードの書き方②)					
	8	面接ノート書き(志望動機・自己PR・長所・短所)					
	9	ペン字(封筒の書き方①)					
	10	ペン字(封筒の書き方②)					
	11	面接検定準備(面接カード作成①)					
	12	面接検定準備(面接カード作成②)					
	13	時事対策①					
	14	時事対策②					
15	時事対策③						
評価方法	提出物・レポートにより評価を行う。また、同じ二次試験対策教科項目(二次試験直前演習)と(公務員リテラシー)も合わせて評価し、評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		ペン字課題提出	○	○			50%
		面接カード提出	○	○			50%
履修上の注意							

科目名	GCB					
科目名(英)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	マナーと協力(協働)について学ぶ全8講座を、50分授業×15回で実施する。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間力)であることを理解できる。
				○		感謝心が人間力の根底にあることを知ることができる。
				○		人間力を高めるためのマナーの重要性に気づくことができる。
テキスト・教材 参考図書	GCB I テキスト					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう①				
	2	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう②				
	3	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活①				
	4	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活②				
	5	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けてモラル・マナーの重要性①				
	6	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けてモラル・マナーの重要性②				
	7	第4講座 マナーの本質 I ①				
	8	第4講座 マナーの本質 I ②				
	9	第5講座 マナーの本質 II ①				
	10	第5講座 マナーの本質 II ②				
	11	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常①				
	12	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常②				
	13	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標③				
	14	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標④				
15	第8講座 グローバル・シティズンとしての「志」に向けて					
評価方法	講座受講後のレポートの提出によりR評価(合格)とする。 レポート未提出である場合は、D評価(不合格)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート課題	○			○	
履修上の注意						

科目名	模擬試験演習						
科目名(英)							
単位数	13単位	時間数	200時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	<p>模擬試験を用い実際の試験形式と同様に実施する。 各種形式の模擬試験に慣れるとともに、試験結果から理解度を確認し復習と定着に繋げる。 公務員一次試験後は、二次試験に向けた知識の習得と、教養試験の理解度を深める授業を実施する。 授業運営に関しては、前記の内容を2つのグループに分けて実施する。</p>						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					本試験過去問題で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・本試験過去問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		8月3日～9月25日までの期間で実施する全35回模擬試験演習を下記の内容で実施する。					
		1. 国家一般職・税務 6回					
		2. 裁判所職員 2回					
		3. 東京都 2回					
		4. 東京特別区 4回					
		5. 東京消防庁 2回					
		6. 刑務官 6回					
		7. 海保入警皇宮 7回					
		8. 警視庁 2回					
		9. 地域統一模試 3回					
		10. 大阪府 1回					
		計 35回					
		※1回あたりの演習を4時間で実施する。					
		9月28日～10月16日までの期間では下記のように2グループに分けて実施する。					
		1. 面接対策グループ					
		(1) 面接試験対策①面接必要書類作成					
		②自己分析					
		③面接対応演習:個別面接					
		④面接対応演習:集団面接					
	⑤集団討論演習						
	⑥グループワーク演習						
	2. 筆記試験対策グループ						
	(2) 筆記試験対策①地方公務員試験型 I						
	②地方公務員試験型 II						
	③地方公務員試験型 III						
	④地方公務員試験型 IV						
	⑤地方公務員試験型 V						
	※試験形式に応じた問題演習を実施						
評価方法	<p>模試採点結果・・・8月3日～9月25日までの期間で実施する全35回の得点平均で評価する。 ※時事問題など本年度本試験対応に適切でない問題については計算の基礎から除外する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		模試結果得点平均	○	○			100%
履修上の注意							

科目名	模試解説講義						
科目名(英)							
単位数	7単位	時間数	108時間	担当者	山本 剛/桑原 賢/横山 真太郎 /船木 竜太/賀来 美和		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	模擬試験問題についての解説を実施する。重要問題と誤解答が多かった問題について重要項目の内容説明と解法解説を実施し理解を深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	△				本試験過去問題で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	本試験過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		8月3日～9月25日までの期間で実施する全35回の下記模試演習の解説を実施する。					
		1. 国家一般職・税務 6回					
		2. 裁判所職員 2回					
		3. 東京都 2回					
		4. 東京特別区 4回					
		5. 東京消防庁 2回					
		6. 刑務官 6回					
		7. 海保入警皇宮 7回					
		8. 警視庁 2回					
		9. 地域統一模試 3回					
		10. 大阪府 1回					
		計 35回					
		1回あたりの解説を3時間で実施する。					
評価方法	8、9月期に講義内容に基づいた確認テストを行い、得点率で評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 対象となる確認テストは別途告知する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				100%
履修上の注意							